

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年5月9日 (2013.5.9)

【公表番号】特表2012-522030(P2012-522030A)

【公表日】平成24年9月20日 (2012.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-038

【出願番号】特願2012-502640(P2012-502640)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/352 (2006.01)

A 6 1 P 9/14 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

C 0 7 D 311/30 (2006.01)

C 0 7 D 311/62 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/352

A 6 1 P 9/14

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/00

C 0 7 D 311/30

C 0 7 D 311/62

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月18日 (2013.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

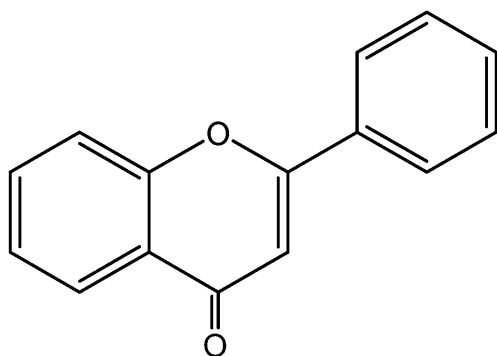
【請求項 1】

哺乳動物においてヘスペレチン（（S/R）- 2, 3 - ジヒドロ - 5, 7 - ジヒドロキシ - 2 - （3 - ヒドロキシ - 4 - メトキシフェニル） - 4 H - 1 - ベンゾピラン - 4 - オン）の生体利用率を増大させる製品を調製するための、少なくとも 1 種のフラボノイド化合物、但し前記フラボノイド化合物はヘスペレチンではない、を含む組成物の使用。

【請求項 2】

フラボノイド化合物が、次の一般式を有する化合物

【化 1】



(式中、炭素 3、5、6、7、8、2'、3'、4'、5' 及び / 又は 6' は、H、OH 又は OCH_3 基で、互いに等しく又は異なるように置換されている) の群から選択され、但し前記化合物はヘスペレチンではない、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

少なくとも 1 種のフラボノイド化合物が、ケルセチン、フィセチン、クリシン、アカセチン、アピゲニン、ルテオリン、タンゲリチン、バイカレイン、スクテラレイン、オウゴン、ジオスミン、及びフラボキサート、ケンフェロール、ミリセチン、フィセチン、イソラムネチン、パキポドル、ラムナジン、ヘスペリジン、ルチン、ガラングイン、ケンフェリド、ゲニステイン、ダイゼイン、ピオカニン A、カテキン、エピカテキン、EGCG、フロレチン、並びにこれらの組合せからなる群から選択される、請求項 1 又は 2 に記載の使用。

【請求項 4】

前記化合物が、食用フラボノイドの群から選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 5】

少なくとも 1 種のフラボノイド化合物が、1 日用量あたり $0.01 \text{ mg} \sim 10000 \text{ mg}$ の量で前記製品中に存在する、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 6】

ヘスペレチンの健康特性を向上させるための、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 7】

前記組成物が、1 日用量あたり $0.1 \text{ mg} \sim 10000 \text{ mg}$ の量でヘスペレチンをさらに含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物を含有する、抗酸化剤。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物を含有する、炎症の治療・予防薬。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物を含有する、静脈瘤、痔核、又は静脈性潰瘍の治療・予防薬。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物を含有する、高コレステロール血症の治療・予防薬。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物を含有する、抗ウイルス剤。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物を含有する、抗癌剤。

【請求項 14】

少なくとも 1 種のフラボノイド化合物、但し前記フラボノイド化合物はヘスペレチンで

はない、及びヘスペレチンを含み、少なくとも１種のフラボノイド化合物及びヘスペレチンが、１日用量あたり１０ｎｇ～１００００ｍｇの量で各々存在する、組成物。